

ハンドボール

No. 3

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	成年男子
<input type="checkbox"/>	成年女子
<input type="checkbox"/>	少年男子
<input type="checkbox"/>	少年女子

試合 番号	18
----------	----

年月日	2018 年 9 月 17 日 (月)
大会名	第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体2018

公 式 記 録 用 紙

A	大分県										京都府						B
福井県		福井市				福井県営体育館				3位決定戦							
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7mTC	A	B			
7mT得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7mT得点/総数						
	2/2	1	2	後	3	1	2	後	3	0/0							
			20:37	27:06													

No.	大分県	G	W	2'	2"	D	DR	No.	京都府	G	W	2'	2"	D	DR
1	伊藤 玲央							1	藤坂 隼也						
2	牧 雄大	3	1					2	木下 翔太	1					
3	坂田 敬一	3						3	竹原 響	4					
4	大津 慎吾	4						4	伊藤 篤博	2					
5	利光 良介	7						5	岩崎 虎太郎	1					
6	後藤 俊介	1						6	山根 万知	4					
7	三重野 将伍	1						7	大麻 航暉	1					
8	園田 俊稀	3						8	木村 道人	5					
9	浜田 弘晟	1						9	八田 将吾	1	1	1			
10	佐野 祐太	3						10	福田 敦大						
11	住吉 連							11	福田 紘也						
12	野上 遼真							12	荒田 隼弥						
役員A	平井 徳尚							役員A	佐久間 良幸						
役員B	富松 秋實							役員B	黒田 美代子						
役員C	平井 香代子							役員C	伊藤 正						
役員D	牧 健一郎							役員D	篠崎 来未						

A	チーム役員A署名	B
---	----------	---

特記事項

レフェリー	清水 啓佑	土橋 邦彦		
T D	半田 有完	岩元 成憲		
JHAオフィシャル	古矢 勲			

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール

No. 5 (No. 2の訂正)

第73回国民体育大会 平成30年度「福井しあわせ元気」国体

試合結果・戦評報告書

競技日	H30. 9/ 13日(木)・14(金)・15(土)・16(日)・17(月)			試合番号	18
会場 コート	A	福井県営体育館	種別	成年	少年
	B	福井市体育館	性別	男子	女子
	C	北陸電力福井体育館フレアAコート	回戦	一回戦	二回戦
	D	北陸電力福井体育館フレアBコート		準々決勝	準決勝
	E	永平寺緑の村ふれあいセンター		3位決定戦	決勝
Aチーム名			Bチーム名		
大分県			京都府		
得点合計	小計		小計		得点合計
26	11		前半		19
	15		後半		
			第1延長前半		
			第1延長後半		
			第2延長前半		
			第2延長後半		
		7mTC			

戦評

大会最終日、少年男子の3位決定戦は、どちらも昨日の準決勝で前半でリズムに乗り切れず、惜しくも敗戦した大分県と京都府の対戦となった。ここまで3試合で23得点の大分県④大津、同じく18得点の京都府④伊藤の打ち合いも見所のこの一戦は、大分県のスローオフで始まった。先制したのは大分県。③坂田のサイドシュートで1点目を取ると③坂田、⑨浜田の3連続得点で大分県が幸先のよいスタートをきった。京都府も再三ゴールを狙うが、大分県の堅い3-2-1DFで、なかなか得点をする事ができず、たまたま前半8分で京都府ベンチは1回目のタイムを取る。その後も京都府はなかなか攻めきることができない試合展開であったが、前半15分に京都府④伊藤がようやくゴールネットを揺らし、1対6とする。その後、京都府は息を吹き返しアグレッシブな3-2-1DFから③竹原、⑧木村、⑨八田の3連続速攻で5対7と追い上げる。たまたま大分県は前半20分にタイムを請求。勢いに乗る京都府は、前半24分に③竹原の速攻で8対8の同点に追いつく。その後お互いに得点を重ね一進一退の攻防が続いたが前半28分、京都府⑨八田の退場の間に、大分県⑤利光のカットインシュートで点差を広げ、11対9で前半を終了。

後半は、大分⑧園田のポストシュートで点差を広げるが、すかさず京都府も⑧木村の2連続得点でくさがる。しかし、大分は④大津のロングシュートや堅いDFからの速攻などでじわじわと点差を広げ、後半10分で16対12と4点差に。大分県は⑩佐野のカットインや②牧の速攻で一時期5点差まで広がったが、京都府も⑦大麻のサイドシュート、⑧木村のロングシュート、②木下のサイドからのスクイブプレーなどで、3点差まで詰め寄り、後半20分で19対16。その後お互い得点を取り合い、残り3分で23対18。ここで、京都府はタイムアウトをとり、オールコートマンツーマンを仕掛けるが、大分県の勢いを止めることができず、26対19で大分県が勝利し、3位入賞を獲得した。

記載者氏名	立山 泰伸
送信日時	月 日 () :
送信者署名	